

こっこめ通信 10 2015

「見分けるために見比べる」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

9月に入ってから北寄りの風が吹き、窓からの風が少し寒く感じる時もありました。黒潮も離れてしまい、その影響で発生した冷水塊で海水温も低くなっています。例年ならまだ泳いでいる人はいるのですが、今年の海水浴場はガランとしています。今年は夏が足早に過ぎて行ってしまいました。それでも5日間のシルバーウィークは天候にも恵まれ、八丈島にはたくさんの観光客が来島していました。ビジターセンターも毎日大忙しでした。

さて今回は、「この秋の渡りの鳥たち」「ヒヨドリバナ属の植物を比較してみる」のお話です。

この秋の渡りの鳥たち

春や秋の渡りの時期になると、島の中はいろいろな鳥が渡って来てとても賑やかになります。しかし、あまり見慣れない鳥たちなのでどれが何なのか見定めるのはとても難しいです。そこで今年の秋に渡ってきた鳥たちの中で見分けにくいシギ・チドリの仲間を撮影し、体の大きさや羽の模様、足の色、くちばしの形などのポイントとなる場所を見比べてみました。矢印がポイントになっている場所です。見分けがつかずしょうか？

写真で紹介した鳥の他にも、ムナグロ、クサシギ、コチドリ、バン、アオサギ、チョウゲンボウ、クロハラアジサシ、ヤツガシラ、ツバメ、ツメナガセキレイ、キセキレイ、コムクドリ、コガモなども確認されています。



エリマキシギ



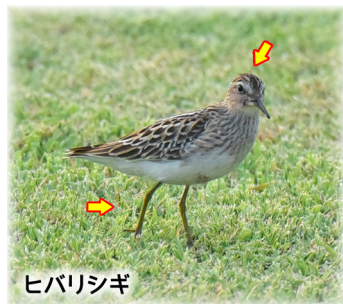
コアオアシシギ



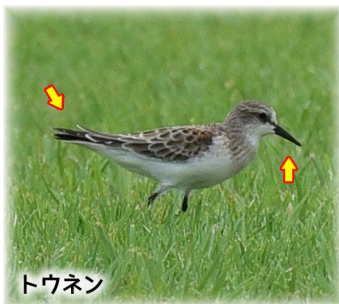
タカフシギ



チュウシャクシギ



ヒバリシギ



トウネン



イノシギ



コチドリ



キョウジョシギ



キアシシギ



アオアシシギ



セイタカシギ

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ヒヨドリバナ属の植物を比較してみる

この時期になると八丈島では林道の脇でヒヨドリバナ属の植物が見られます。島では八丈富士側よりも三原山側に多く、標高もある程度高くないと見られません。ヒヨドリバナ属は変異が大きく、分類が難しいとされています。そこで、三原林道（一部通行止め）と鴨川林道のヒヨドリバナ属の植物を調べ、花や葉、形などを比較し4つのタイプに分けてみました。（根にも特徴がありますが花の時期を過ぎて確認したいと思います）

A-type

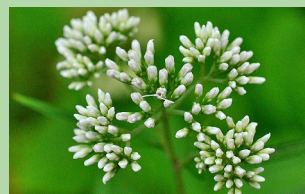
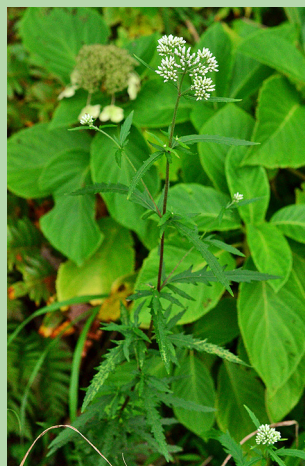


花	白（早咲き）
茎	緑、根本は茶色
葉形	長楕円形

葉柄	長い
腺点	なし
鋸歯	あり（深い）

ヒヨドリバナと思われますが、腺点がないのでホシナシヒヨドリバナと呼ばれるタイプなのかもしれません。枝分かれが少ないですが、根本の大きな葉の付け根には2枚の葉が出てくることがよくあります。

B-type



花	白（遅咲き）
茎	茶色、頂上部は緑
葉形	3全裂

葉柄	とても短い
腺点	なし
鋸歯	あり（粗い）

牧野博士が八丈島で採集した標本のホソバナミツバヒヨドリバナと同じものだと思います。花は数が多く、咲くのは他の種よりも遅いです。枝分かれがとても多く、横に広がります。ヒヨドリバナとサワヒヨドリの雑種と思われます。

C-type



花	薄ピンク
茎	赤茶色
葉形	披針形

葉柄	短い
腺点	あり
鋸歯	あり（浅い）

サワヒヨドリと思われるタイプ。葉は他の種に比べて3行脈がとても目立ちます。枝分かれすることはほとんど無いですが、葉の付け根には小さな2枚の葉が出ていることが多いです。花の柄がとても長く、花が大きく見えます。

D-type



花	白
茎	緑、根本は茶色
葉形	披針形

葉柄	とても短い
腺点	なし
鋸歯	あり（浅い）

葉は3行脈が少し目立ち、鋸歯は基部の一つが他に比べ少し深くなっています。A-type、B-type、C-typeのすべてを合わせたような感じにも見えます。4タイプの中で1番個体数が少なく、あまり見かけませんでした。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月13日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成27年第9回) 参加者・沖山、沖山、永井、矢野、青木、VC菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			34	ツルボ	花	13	ヒメユズリハ	実
1	アオツツラフジ	花	35	テンツキ	実	14	ホルトノキ	実
2	アオノクマタケラン	若い実	36	トウバナ	花と実	15	マンリョウ	実
3	アシタバ	花と実	37	ノチドメ	実	16	ヤブニッケイ	実
4	アメリカスズメノヒエ	花と実	38	ハイメドハギ	花	シダ植物		
5	アリタソウ	蕾	39	ハチジョウアザミ	花			
6	イガガヤツリ	花	40	ヒナギキョウ	花と実	1	オオイタチシダ	
7	イヌタデ	花	41	ヒメクグ	実	2	オオタニワタリ	
8	イワニガナ	花	42	ヒメムカシヨモギ	花	3	オニヤブソテツ	
9	ウスベニニガナ	花	43	フウトウカズラ	若い実	4	カニクサ	孢子葉
10	ウラジロチチコグサ	花と実	44	ブラジルコミカンソウ	花と実	5	コハシゴシダ	
11	ウリクサ	花	45	ヘクソカズラ	花	6	タチシノブ	孢子葉
12	エダウチチミザサ	蕾	46	ホソバツルメヒシバ	実	7	タマシダ	
13	オオアレチノギク	花と実	47	メヒシバ	実	8	ナチシケシダ	
14	オオバコ	実	48	メリカンカルカヤ	蕾	9	ノキシノブ	
15	オニタビラコ	花と実	49	ヤハズソウ	花	10	ハチジョウカナワラビ	
16	オヒシバ	花	50	ヤブマオ	花	11	ハチジョウシダ	
17	カゼクサ	実	51	ヤマイ	実	12	ヒトツバ	
18	カヤツリグサ	実	52	ヨモギ	蕾	13	ホシダ	
19	カラムシ	花				14	ホラシノブ	
20	キツネノマゴ	花				15	マツバラソ	若い孢子囊
21	キンエノコロ	実	木本			16	マメツタ	孢子葉
22	コゴメガヤツリ	花	1	アオキ	若い実	17	ミゾシダ	
23	コニシキソウ	花と実	2	イタビカズラ	実	18	ヤマイタチシダ	
24	コミカンソウ	花と実	3	イヌビワ	実	19	ワラビ	
25	ザクロソウ	花と実	4	オオムラサキシキブ	実	今回はシダ植物 19 種を含む 87 種の植物を観察しました。様々な植物が実をつけ、秋らしい空気を感じることができました。		
26	シチトウスミレ	閉鎖花	5	ガクアジサイ	実			
27	シマウチワドコロ	実	6	シマクサギ	花			
28	シマスズメノヒエ	花と実	7	タイミンタチバナ	実			
29	センニンソウ	花	8	テイカカズラ	実			
30	チチコグサ	花と実	9	トベラ	実			
31	チャガヤツリ	花	10	ハゼノキ	実			
32	ツユクサ	花	11	ハチジョウキブシ	実			
33	ツルソバ	花	12	ヒサカキ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内にもたくさんいる「ヒヨドリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヒヨドリ

Hypsipetes amaurotis amaurotis

ヒヨドリ科の鳥で8亜種に分けられています。八丈島で見られるのは、北海道から九州で見られる亜種ヒヨドリと同じです。

島では留鳥として一年中見られますが、冬には北から渡って来る個体群もあり、とても賑やかになります。島言葉では、鳴き声から「ピーパーメ」と呼ばれています。

2015 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 07:55 01:26 19:33 13:41	2 08:45 02:09 20:05 14:19	3 ガイドウォーク 09:41 02:56 20:39 14:59
4 ガイドウォーク 10:52 03:49 21:22 15:53	 5 12:33 04:56 22:38 17:44	6 06:22 20:05 14:12	7 00:46 07:48 15:05 21:08	寒露 8 02:21 08:52 15:41 21:46	9 03:22 09:38 16:09 22:16	10 ガイドウォーク 04:07 10:16 16:35 22:44
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04:46 10:50 17:00 23:11	12 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野 ハイキング」 05:22 11:20 17:23 23:38	● 13 05:55 11:49 17:47	14 06:29 00:05 18:10 12:17	15 07:02 00:34 18:34 12:45	16 07:37 01:04 18:58 13:14	17 ガイドウォーク 08:15 01:36 19:25 13:45
18 ガイドウォーク 08:58 02:12 19:55 14:20	19 09:53 02:55 20:32 15:07	20 11:08 03:49 21:28 16:21	 21 12:41 05:03 23:15 18:24	22 06:33 20:02 13:58	23 01:17 07:56 14:50 20:59	霜降 24 ガイドウォーク 八文学講座 「沢の小径自然観察会」 02:41 09:00 15:31 21:43
25 ガイドウォーク 03:44 09:53 16:08 22:24	26 04:38 10:39 16:44 23:04	○ 27 05:28 11:23 17:18 23:45	28 06:17 12:04 17:52	29 07:04 00:25 18:26 12:45	30 07:51 01:06 19:00 13:24	31 ガイドウォーク 08:38 01:48 19:33 14:04

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10/11（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

全国自然歩道を歩こう月間

「八丈富士裾野ハイキング」

全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。
10/12（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険・交通費） 定員：20名

八文学講座

「沢の小径自然観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は、中ノ郷地区にある「沢の小径」で自然観察会を開催します。
10/24（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
えこ・あぐりまーと集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.10.1 第173号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

表紙で紹介した鳥たちは、渡って来る数は少ないですが、毎年やって来るレギュラーメンバーになりつつあります。同じ個体が出来ているのか？全く違う個体が出来ているのか？聞けるものなら聞いてみたいです。欲を言うなら、友達をもっと連れてきてほしいですね。（高）